



公益社団法人

東京薬事協会



一般社団法人

くすりの適正使用協議会

報道関係者各位

2018年6月18日

東京薬事協会とくすりの適正使用協議会が協力し 中央区・千代田区の全中学生に、薬の小冊子を配布

公益社団法人 東京薬事協会(東京・中央区、会長:岩城 修)は、一般社団法人 くすりの適正使用協議会(東京都・中央区、理事長:黒川 達夫、以下協議会)の協力のもと、本年6月初旬、中央区および千代田区の全中学校の生徒および教職員、計2,726名に、協議会等が昨年10月に作成した小冊子「くすりは正しく使ってこそくすり!」を配布しました。

協議会の調査では、正しい知識を持っていないにも関わらず、自己判断で薬を服用する中学生は、3人に1人に上っています。学校教育の早い段階で、薬の基礎知識を身につけることで、自らの健康は自らで守るというセルフメディケーションの実践や、健康維持へ主体性を持つことにもつながります。

東京都民の薬の知識向上を推進する東京薬事協会と、薬の適正使用を推進する協議会は、これまで、医薬品教育の普及や一般用医薬品啓発イベントの開催等において相互協力を続けてきました。この度、両団体の所在地である東京都中央区と、隣接区である千代田区にて、両区の中中学生に薬の正しい知識を持ってもらおうと、小冊子を相互協力のもと配布しました。

同小冊子は、文部科学省の協力を得、公益社団法人 日本薬剤師会と協議会が共同で制作し、昨年10月に公開したもので、学習指導要領に基づき中学校で行われている医薬品の教育内容に準じています。また、4コマ漫画やイラストを多用し、自然治癒力の重要性やカラーコンタクトレンズなど、生徒に身近なトピックスも盛り込み、授業で取り上げやすいように工夫しています。協議会ホームページからはパワーポイント版のダウンロードもできるなど、学校の授業等で楽しく薬の基礎が学べる教材となっています。

両団体は、今後も薬の知識向上や適正使用のため、相互協力を続けてまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

◆公益社団法人 東京薬事協会 岡根

TEL:03-3279-1300 FAX:03-3242-1994 MAIL:okane@yakujikyo.or.jp

◆一般社団法人 くすりの適正使用協議会 山崎/安井

TEL:03-3663-8891 FAX:03-3663-8895 MAIL:info@rad-ar.or.jp



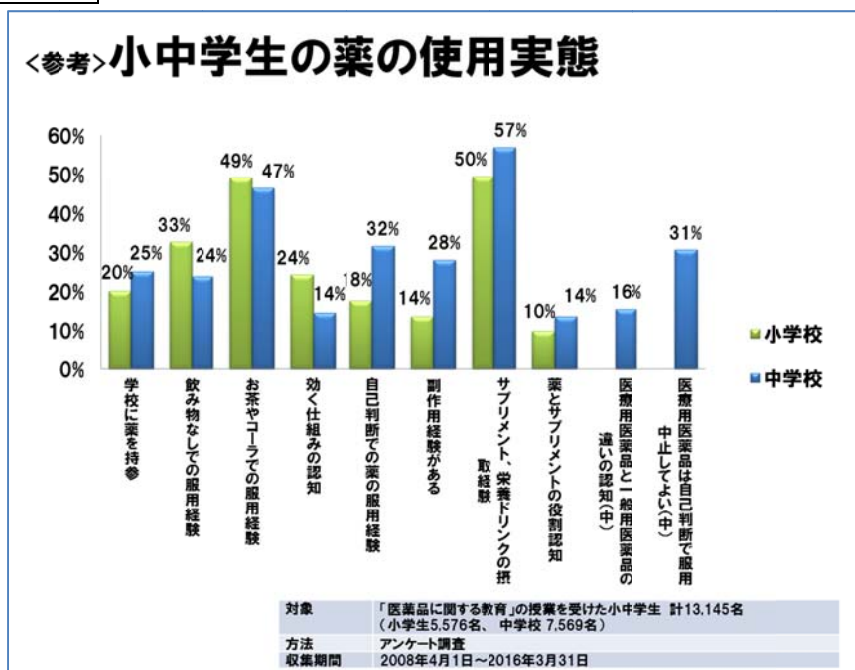
参考資料

配布部数の詳細

- ・中央区立小学校の教職員へ 100 部
- ・中央区立中学校 4 校、生徒および教職員等へ 1,650 部
- ・千代田区立中学校 3 校、生徒および教職員等へ 1,380 部

※それぞれ予備部数を含む

小中学生の薬の使用実態



小冊子「くすりは正しく使ってこそくすり！」

小冊子 PDF 版およびパワーポイント版のダウンロード <http://www.rad-ar.or.jp/use/kusuri-gb/>

公益社団法人 東京薬事協会について

公益社団法人 東京薬事協会は創立 133 年を迎え公益社団法人としては 6 年目にあたり、現在の業種・業態・規模を超えた会員のご協力により、継続的に都民のための「薬業の向上発展に関する調査・研究」「地域社会に対する薬事知識の啓発」「薬事に関する講習会などの開催」「奨学金の給付」などの事業を積極的に推進し、公益事業を拡充しております。また、共助の精神を以て身の丈に合った相応しい事業に努めております。

公益社団法人 東京薬事協会ホームページ <http://www.yakujikyo.or.jp>

一般社団法人 くすりの適正使用協議会について

一般社団法人 くすりの適正使用協議会は、くすりのリスクとベネフィットを検証し、社会に提示することで患者さんのメリットに寄与することを目的に、1989 年に当時の研究開発指向型製薬企業 11 社によって設立されました。創設当初より、医薬品の本質を評価する学問「薬剤疫学」の普及、医薬品適正使用情報「くすりのしおり®」の提供など、医薬品の本質の理解促進と正しい使い方の啓発活動を行ってまいりました。2012 年度からは「医薬品リテラシーの育成と活用」をキーコンセプトに活動を行っています。

※製薬企業会員 23 社、賛助会員 6 社・1 団体、個人会員 6 名、特定会員 174 社

一般社団法人 くすりの適正使用協議会ホームページ <http://www.rad-ar.or.jp>

くすり教育ホームページ <http://www.rad-are.com/>